

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年6月26日(2008.6.26)

【公開番号】特開2002-336479(P2002-336479A)

【公開日】平成14年11月26日(2002.11.26)

【出願番号】特願2001-150593(P2001-150593)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月14日(2008.5.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 画像を表示するための画面を有する表示装置と、前記表示装置での画像表示を制御する表示制御手段とを備えた遊技機において、前記表示制御手段は、公転運動する画像の基本姿態を表わした基本静止画像のデータをメモリに保持すると共に、その基本静止画像データに対して所定の演算処理を施すことにより、公転運動の際の個々の姿態についての静止画像を生じさせ、当該静止画像を用いて前記表示装置の画面において画像が公転運動して見えるように画像表示制御を行うことを特徴とする遊技機。

【請求項2】 前記表示制御手段は、前記公転運動する画像の基本姿態を表わした基本静止画像のデータをメモリに保持しており、前記基本静止画像の倍率を時系列的に変化させると共に、その逐次倍率変化する画像の前記画面上での位置を単振動的に変化させることにより、公転運動の際の個々の姿態についての静止画像を生じさせることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】 前記表示制御手段は、公転運動する画像を最大倍率で表示することにより当該画像が画面の最も手前側にある状態を演出し、最小倍率で表示することにより画面の最も奥側にある状態を演出することを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。

【請求項4】 前記公転運動する画像は、その画像の背面側を見せることなく常にその画像の正面側だけを見せながら公転運動を行うことを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の遊技機。

【請求項5】 画像を表示するための画面を有する表示装置と、前記表示装置での画像表示を制御する表示制御手段とを備えた遊技機において、前記表示制御手段は、前記表示装置の画面に表示する画像の基本姿態を表わした基本静止画像のデータを保持するメモリと、画像データの倍率を変化させる機能を有するデータ加工手段と、前記表示装置の画面上での画像の位置を制御する位置制御手段とを備えており、前記基本静止画像の倍率を時系列的に変化させると共に、その逐次倍率変化する画像の画面上での位置を単振動的に変化させることにより、画像が前記表示装置の画面と略直交する仮想平面内を公転運動して見えるような画像表示を実現することを特徴とする遊技機。